

心身健全!



■プロフィール/大槻剛巳(おつき たけみ)
 川崎医科大学衛生学教授
 0歳:京都府福知山市にて生誕
 14歳:京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
 14歳:KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
 15歳:倉敷市に転居
 15&18歳:NHKあなたのメロディー出演
 18歳:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場
 20歳:YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
 24歳:川崎医科大学卒業
 以降:川崎医科大学血液内科へ衛生学にて診療・研究・教育に従事
 1992-1996年:米国留学(医学研究)
 1996年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として『岡山の文学』に掲載
 2009年:Camnet GH-F(10-19)パーソナリティ担当
 現在に至る

CAMNETでお楽しみの皆さん、いかがお過ごしですか? 「心身健全!」パーソナリティの川崎医科大学 衛生学 大槻剛巳です。

さて、2015年に入った1~2月号のマガジン版「心身健全!」です。皆様、今年は(も?)よい年になりそうですか? 心も身体も健全に、前を向いて歩いていきましょう。

このコラムでは、その季節に合わせた風景を紹介しながら、大槻の学会活動やその他日々の雑感などを紹介しておりますが、今回は2010年1月に富山に行った話です。



さて、この時には、とある産学官連携の共同研究の関係で冬なのに・・・北陸に向向いたのです。この産学官連携というのは当時からもそうですが、現在でも種々イノベーション創生に向けて展開されているプロジェクトなどです。特に医学医療系については、iPS細胞もそうですが、その他の種々の医療機器(ロボット手術なども含めて)や創薬(最近では分子標的薬というのが流行りというとおかしいですが、主体になってきています)の面でも、医学医療の研究を産業創生に向けて展開しようということです。

日本でもアベノミクスの関連で、「日本版NIH」というのが話題になりました。昨年(2014年)夏の日本経済新聞のWEB版から抜粋しますと、『医療の技術革新や産業育成で経済成長を目指す「健康・医療戦略」を政府が22日の閣議で決定した。ただ、省庁の縦割りを排した医療の研究開発の司令塔となる「日本版NIH」の文言は同戦略から消えた。優先分野を決めメリハリをつけた予算配分には課題が多い。政府は昨年、自ら研究を手掛け予算も一手に握る米国立衛生研究所(NIH)を参考に、日本版NIHを設立するとしていた。実際は文部科学省や厚生労働省、経済産業省がそれぞれ要求する研究予算の配分を、来年4月

に設ける独立行政法人に束ねただけ。政府は「司令塔」機能は残したと主張するが、省庁間の利害調整の手法もそのままだ。』というような記事が掲載されています。国の主導で医学医療の研究や技術革新から産業につながる重点分野を設定して、そこに資金を集中的に配備することによって、ひいては国の成長戦略にもつなげようという試みです。実際には、今度の4月から『日本医療研究開発機構』が立ち上がり、省庁の枠を超えた管理運営で重点分野をさらに伸ばそうという構想が開始されます。

ただ、これにしても実はそれぞれの研究分野の研究者たちは、なかなか、はいそうですかって訳にもいかない現実もあります。予算枠が勿論若干増加しても国全体の予算は決まっているし、その中で重点分野に多く投入されれば重点ではないと判断された分野には配分される予算額は減少してきます。そしてiPS細胞の展開にしても、勿論画期的なこととして網膜再生に対してヒトでの臨床試験が開始されたりもして、種々の健康の不都合を有してらっしゃる方々には光明が射してきていることは紛れもない事実です。

しかし、例えば大槻が所属しております日本衛生学会なども含めた社会医学系と呼ばれている公衆衛生学・産業医学・予防医学などの領域は、そもそも疾病になっていくのを予防していくにはどういう手法を取ればいいのか、あるいはどういった原因物質(環境中とか労働の現場などで)がどんな悪影響を体にもたらすのか、そして種々の生活習慣などが将来的な疾病をどのように作り出していくのかといったことを研究実践する学問領域なのですが、当然、現在の疾病に苦しめられてらっしゃる方々というよりも、今は健康と考えられるけれど将来某かの健康の破綻が来るかも知れないような人たちを対象としているような領域です。

こういった領域に、この『日本医療研究開発機構』の重点分野としての選択に入ってくるのかというと、なかなか難しいものを感じられます。

まあ、それはそれとして、産学官連携イノベーション創生っていうのは現在もトレンドになっていて、大槻もその富山に行っていた当時は某住宅メーカーさんと共同研究をしていたのです。

実はこれは現在、そのメーカーさんとは異なりますが、別の住宅メーカーさんが商品に組み込まれたりされています。



また、勿論、我々の教室(川崎医科大学衛生学)は珪酸やアスベストの免疫影響を中心とした生体影響の研究する教室ではあるのですが、少し多角的な研究展開として、地元岡山の住宅メーカーさんなども別の共同研究をしたりもしています。

また、本来の我々の研究テーマも視点を少し移動するとそういったシーズとしても価値を見いだせるのではないかとということで、2014年10月にもBioJapanというバイオ系のイノベーションの展示会にも出展してきました。

さて、話は冒頭に戻りますが、この時の富山はお城も綺麗に雪化粧でした。『戦国時代には佐々成政の居城であり、江戸時代には富山前田家の居城として富山藩政の中心であった富山城』なのですが、ステキな公園になっていました。



さて、では、いつものオリジナル楽曲の歌詞紹介！
冬の雪の歌にしましょう。

冷たい季節

作詞・作曲：大槻剛巳

1976.1/20.

あなたの部屋で ソファーにもたれ
白いセーター 編んでいたのも
雪に沈んだ 街を見つめて
二人の吐息 重ねたことも

あゝ 思い出に なってしまって
一人 淋しい 春をむかえる

※ だけど 泣かないわ
冷たい季節を
暖かな愛で
包まれた 私は

いつもどおりに 熱いミルクを
入れる私に やさしい視線

背中ではわかる 愛の想いを
溶かして飲んだ あの夜のこと

あゝ 街はもう はしゃいでいるわ
取り残された 春はつらいの

※ repeat

あゝ 華やいだ 新しい風
髪を乱して 吹きすぎるだけ

※ repeat

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

